

8/14
(木)

ソフトボール 成果が実った金メダル



▲笑顔で報告

第18回男子ワールドカップファイナル(4位)、第12回ワールドゲームズ男子(日本はアメリカと同時優勝)に出場した森田裕介さんが町長を表敬訪問しました。森田さんは「前回のワールドカップで悔しい思いをしたので、この大会に向けて準備と練習を頑張ってきた」と語り、「これまでの努力が形になったのでほっとしている」とにこやかに続けました。

8/15
(金)

重ねた練習を糧に

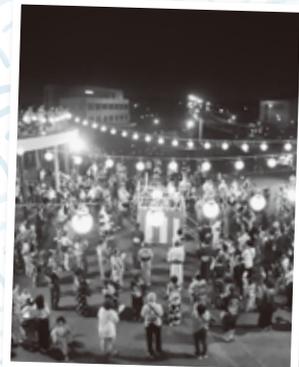


▲賞状を手に表敬訪問

全国高等学校定時制通信制体育大会第27回バドミントン大会(8月19日~22日神奈川県で開催)に出場する山口杏玲亜さん(大府高校3年)が町長を表敬訪問しました。競技歴3年で全国大会に出場する選手となった山口さん。バドミントンを始めたきっかけは体育の授業で楽しかったから、と笑顔で話しました。「得意のスマッシュで得点を決めたい」と全国大会への抱負を語りました。

8/16
(土)

あぐいふれあい盆踊りの夕べ



8/6
(水)

まちをきれいに・美しく

町民の皆さんが里親となって公共施設や道路の美化・保全を進める「公共施設アダプトプログラム(里親制度)」を令和7年度から開始しました。

第1号として申し込みのあった「vivit agui」さんに話を聞きました。

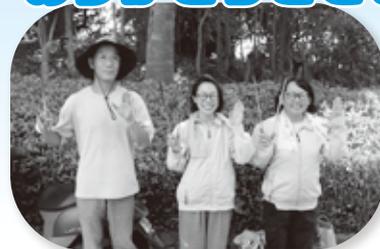


島田橋付近の道路は交通量も多く、秋には川沿いにススキが多く穂を出し景観も素晴らしいスポットだが、ごみが散乱している様子をよくみかけ、とても残念な気持ちになった。ごみ拾いをするにも、ごみ袋や清掃用具などを自分で用意しなければならないことなどから、なかなか足が進まなかったところ、アダプトプログラムを町職員から紹介してもらったことで、活動を始めた。

ボランティア活動はごみゼロ運動に参加している程度。アダプトプログラムでは身近で気になるところがあれば、友達同士などで気軽に活動することができる。自分たちのまちをきれいにしていくために活動することで、少しでもごみが減り、阿久比町がきれいなまちになってほしい。そのためにも、この活動の輪が広がってほしい。



「vivit agui」の皆さん ありがとうございます。



▲町ホームページ